

### 3. 文化芸術

#### (1) 文化芸術とは

文化芸術活動は、「みる（鑑賞・観覧等）」、「する（活動・参加等）」、「ささえる（普及・継承・指導等）」とを分けて定義づけています。なお、文化芸術活動の主体は広く、性別・年齢・障害の有無・国籍・ライフステージ等によって様々です。「みる」は、展示物や上演・上映される作品を観ることを指し、基本的には「みる」ために自ら現場に出向く活動を伴うものを指しますが、オンライン視聴等も主体的に「みる」行為にあたり定義の拡大が進んでいます。「する」は、自宅や教室、サークル等での趣味の活動、展示会・公演等の開催や出展・出演等、自ら行う活動を指し、プロから愛好家（個人・団体）まで、レベル別の視点も含まれますが、体験等の一時的なものではなく、継続して行うことが必要となります。「ささえる」は、子ども達や後進への文化芸術の継承やボランティア等による指導育成・運営への参加等を指します。

#### (2) 現状と課題

##### ①文化芸術に触れることができる機会の確保

区では、シビックホール等を利用したコンサートや演劇等の鑑賞事業、展示室・ふるさと歴史館・森鷗外記念館を利用した企画展、能楽やかたるたをはじめとした区にゆかりのある文化芸術の体験事業等、様々な文化芸術に触れることができる機会を設けてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、区民や団体が文化芸術活動や鑑賞を行うことが難しい状況となっています。

文化芸術活動等の停滞を防ぐためにも、オンライン配信等を利用した鑑賞や勉強の機会の確保のほか、感染症対策を徹底した中での事業実施の検討等、これまでと異なるアプローチが求められます。合わせて、だれもが文化芸術に触れることができる社会の実現のため、性別や年齢、障害の有無等の様々な状況に応じて、文化芸術を楽しむことのできる機会を充実させる必要があります。

##### ②文化芸術の次世代を担う人材の育成

区で長年にわたり主催してきた文京区秋の文化祭や各種文化のつどい・大会などの文化事業は、区民の日頃の成果の発表の場となるだけでなく、区の文化芸術を担っている区内各種文化団体との協働により事業を実施するものであり、各種文化の担い手の育成にも寄与してきました。

しかし、文化芸術では、鑑賞と活動の両面において担い手の高齢化が進んでいます。これまで地域で育まれてきた文化を次代につなぐためにも、文化の担い手を育成することが喫緊の課題となっています。

文化の担い手の育成にあたっては、現在の文化継承の主な担い手となっている中高

年層が、子ども達に文化芸術の楽しさを伝える世代間交流事業の充実を図るほか、学習分野との連携により、文化芸術の「実践の」入り口となる機会を提供することや子ども達のニーズに合った文化芸術プログラムを提供することで、興味・関心を高めることが求められます。また、多くの人々が文化芸術に触れられる機会を創出するため、文京区と各文化芸術団体が連携して事業を実施するなどの取組みが必要です。

### ③文化資源の再発見と活用の推進

近年区が積極的に取り組んでいる能楽や競技かるたをテーマとした文化事業等は、長い歳月をかけて地域の中で育まれてきた区にゆかりのある文化資源について、改めて区民が触れ・知ってもらう機会を創出するとともに、地域が有する文化資源の魅力を区の内外に発信していくものです。

今後、デジタル技術の質の向上に伴い、デジタルによる鑑賞の質が高まるとともに発信力・表現力が向上されることが予想されます。そうした中で、デジタル技術の文化芸術への応用について検討が進むことが期待されます。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、日本文化を発信することが期待されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、十分なアピールを行うことができませんでした。

文化資源の効果的な活用に向けて、観光分野をはじめ、他の分野と連携を図り、地域に存在する文化資源の再発見と適切な活用を推進することが求められます。また、デジタル技術など新しい技術が進展する中で、それらを活用した文化芸術を生み出すという観点も求められます。さらに、文化芸術の発信に向けては、オンライン等の新たな発信方法の活用を検討する必要があります。

### ④文化芸術の性質を踏まえた支援の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、長年地域で行われてきた文化芸術イベントを開催することが難しい状況となっています。また、活動機会を設けることができず、メンバーも減少してきています。今後、活動を再開し再び軌道に乗せていくためには、資金や労力等がかかり、非常に困難を伴うものと思われます。

継続して区民の文化芸術活動を推進し、区の文化資源を継承していくためには、長期的な視点に基づくとともに、多角的な支援のあり方を検討していく必要があります。

## 現状と課題のまとめ

- ①文化芸術に触れることができる機会の確保
- ②文化芸術の次世代を担う人材の育成
- ③文化資源の再発見と活用の推進
- ④文化芸術の性質を踏まえた支援の充実

### (3) 施策体系の考え方

現状と課題を踏まえると、区民や団体における、活動及び鑑賞の機会が新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく制限されていることがわかります。また、文化芸術の担い手の育成も重要な課題となっていることから、文化芸術を停滞させることなく、だれもが文化芸術を楽しむことができる機会を確保するとともに、これまで育んできた区の文化を次代につなげることが重要です。また、区には様々な文化資源があるため、それらを効果的に活用するとともに、情報を発信することが求められます。

区の文化芸術の振興に向けて、だれもが文化芸術に親しめるように、区民や団体の活動や鑑賞機会を充実させるとともに、これからの文化芸術を支える人材の育成支援の充実を図ります。また、区内に存在する様々な文化資源を効果的に活用したまちづくりを推進します。

基本方針	施策
①いつでも、どこでも、だれでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】	ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実
	イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供
	ウ 活動に繋がる契機としての鑑賞機会の提供
②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】	ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実
	イ 市民団体等の活動に対する支援の充実
	ウ 文化芸術活動の場の提供
③文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】	ア 次世代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実
	イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成
	ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承
④地域の資源を活かしたまちづくりの推進	ア 文化資源を活用した事業の推進
	イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信
	ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

## (4) 基本方針と施策の方向性

### ①いつでも、どこでも、だれでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり 【みる（鑑賞・観覧等）】

性別、年齢や障害の有無等によらず、また、新型コロナウイルス感染症の影響等も踏まえ、場所や時間等に関わらず文化芸術を鑑賞できることは重要です。そのため、オンライン等も活用しながら、区民のだれもが場所や時間を問わずに、文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。

#### ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

令和元年度に行った調査によると、過去1年間に出かけて文化芸術を鑑賞した人の割合は81.2%となっており、現在でも多くの区民が文化芸術を鑑賞していることがわかります。今後も性別、年齢や障害の有無等、その人が置かれた状況に関わらず、だれもが文化芸術を身近に鑑賞できるよう、機会の充実を図ります。

#### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。

## イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活上の様々な行動が制限されており、文化芸術も従来通りの鑑賞形態が難しくなっています。

そのような環境下においても、文化芸術に触れることができるよう、多様な手法を用いて鑑賞機会を提供します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。
夜能オンライン動画視聴権プレゼント	宝生会の配信コンテンツである夜能動画の視聴権を区民にプレゼントすることで、時間や場所を選ばず、能楽に触れることができるようにします。

## ウ 活動に繋がる契機としての鑑賞機会の提供

令和元年度に行った調査によると、今後何らかの文化芸術を鑑賞したいと考えている人の割合は、92.9%となっており、文化芸術の鑑賞機会の充実が求められます。また、文化芸術の鑑賞により、文化芸術の活動に対する意欲が醸成されることも期待されます。そのため、文化芸術活動へ繋げていくことを見据えた、様々な文化芸術の鑑賞機会を提供します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。

## ②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出 【する（活動・参加等）】

区民がそれぞれの興味・関心やレベルに応じて文化芸術活動を楽しむことができるよう、だれもが気軽に文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを推進します。

### ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

令和元年度に行った調査によると、文化芸術の活動に参加しやすくなるために必要なものとして、身近な場所での活動や魅力的な内容の活動のほか、初心者向けの活動を望む声が多く聞かれました。区民がそれぞれの興味・関心やレベルに応じて文化芸術活動を楽しむことができる機会の充実を図ります。

#### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。
朗読コンテスト【再掲】	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。
かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。

## イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

これまで区内では、様々な区民団体が文化芸術活動を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体の活動機会の減少にもつながっています。今後、区の事業や区民の文化芸術活動を感染症流行前の状態に戻していき、さらに発展・継承していくために、多角的な視点からの支援の充実を図ります。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
社会教育関係団体の登録	区内の生涯学習活動を促進するため、社会教育関係団体の登録を実施し、一部区内施設の使用料の減免をします。

## ウ 文化芸術活動の場の提供

区はこれまで、区民参加の機会や活動の支援のため、文化祭や展示会等、活動や発表の機会を充実させ、提供してきました。引き続き、区民が文化芸術活動を行うことができるよう、発表の機会とともに、活動の場を提供します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
舞台芸術創造事業（大ホール）	区民を対象にオペラ公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催します。

### ③文化芸術を支える人材の育成支援の充実 【ささえる（普及・継承・指導等）】

これまで地域で生まれ受け継がれてきた文化や伝統の普及・継承のためには、子ども達を含む次世代の文化芸術を担う人材を育成することが重要です。そのため、次世代を担う層が文化芸術に親しむことのできる機会を充実させるとともに、地域の多様な主体と連携・協力をしながら、文化芸術を支え、伝統を継承し、伝える担い手の育成を推進し、貴重な文化資源を次の世代へと継承していきます。

#### ア 次世代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実

子どもたちをはじめとした、次世代を担う層が文化芸術に関心を持つことは、文化芸術の普及や継承をする上で重要です。そのため、子どもたちを含む次世代を担う層が、文化芸術へ関心を持つきっかけとなる機会を充実させます。

#### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。
I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト～	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施します。



## イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

文化芸術は、長い時間をかけて地域で育まれてきた社会的な財産であるといえます。文京区において、これまで育まれてきた文化芸術を次の世代に継承するため、文化芸術を支え、伝える担い手を育成します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。
I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト～【再掲】	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施します。

## ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

区内には、地域で生まれ、受け継がれてきた貴重な文化資源が数多く存在します。区内に存在する文化資源を守り、将来に継承していくために、多様な主体との連携・協力を推進します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。
I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト～【再掲】	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施します。
かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。

#### ④地域の資源を活かしたまちづくりの推進

区には様々な文化資源がありますが、そうした資源を観光や産業など他分野と連携して活用することにより相乗効果が期待されるため、文化芸術と他分野との連携を図り、地域の特色ある文化資源の魅力を内外に積極的に発信するとともに、地域の文化資源を活用したまちづくりを推進します。

##### ア 文化資源を活用した事業の推進

令和元年度に行った調査によると、地域で祭事などの年中行事の鑑賞や参加の経験がある区民が、約2～3割程度となっている一方で、関わったことのない区民が約4割となっています。区内には様々な魅力ある文化資源が存在しますが、文京区の魅力をアピールするため、それらの文化資源を活用した事業を推進します。

##### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
I don't know (能) …NO (能) problem! ～みんなで親しむ「能 (Noh) プロジェクト～【再掲】	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施します。
かるたの街文京を発信！【再掲】	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。
「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクトで、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

## イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

区内には、六義園や湯島天満宮表鳥居、三座の舞など有形・無形の文化財が数多く残されています。そうした文化財等の魅力を発信することは、区の魅力を広くアピールすることにつながります。そのため、区内に存在する特色ある文化資源の魅力を確認、再発見し、その魅力を内外に積極的に発信します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。
文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。
文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。
森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。
文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミュージアムネットワーク）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

## ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

区内の様々な文化資源は、人々の学習等に寄与するだけでなく、他の分野との連携を図ることで、地域の活性化やまちづくりに寄与することが期待されます。区内の文化資源を効果的に活用し、地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりを推進します。

### ■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
I don't know (能) …NO (能) problem! ～みんなで親しむ「能 (Noh) プロ ジェクト～【再掲】	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施します。
かるたの街文京を発信！【再掲】	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。
「文の京文化発信プロジェクト」 【再掲】	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクトで、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。